

## 2019-20 年度 古瀬俱之ガバナー公式訪問 報告書

日時：2019年9月10日（火） A方式

場所：赤坂レイクサイドカントリークラブ

令和元年9月10日11時より、古瀬ガバナー・阿川随行幹事をお迎えして、会長・幹事懇談会と例会が開催されました。

当日は、古瀬ガバナーから、ロータリーの基本、地区目標を提示頂き、ご挨拶の後、懇談会を開催。先ず、雷門会長からクラブ運営方針について説明。

次に、財前副幹事からクラブ概況について説明。その後、各委員会の内容について評価とご指導を頂きました。

委員会構成については、奉仕が主たる活動になる事から、CLP 対応であっても、「奉仕の部門」の標記は明確に表示する事が必要である。クラブ運営委員会は、メイクアップの改善による出席率向上、例会・地区大会・IM等の行事・会議への積極的な参加・出席、親睦活動を通して、又、会員夫人を通して会員勧誘等が大切。会員増強委員会は、ロータリーの友、ロータリー情報、ガバナー月信等を活用し、目標達成に行動が必要。奉仕プロジェクトは、社会奉仕として、親クラブとの共同奉仕、多様な場での奉仕の理想に取り組む姿勢。青少年奉仕では、地道な奉仕活動の継続に評価をいただいた。国際奉仕では、DWCS の活用提案。

職業奉仕・会場監督・スマイルボックスでは、スマイルメッセージカードで、慶事・祝事、失敗談・迷惑談等、を披露に好感をいただいた。広報委員会は、基本方針に則り継続。最後にポリオ根絶の取り組みなどについて現状をお話し下さった。

その後、例会場に移動し、例会。ガバナー講演では、物事の本質と道理求めて、大谷翔平のアプローチを例に、ロータリークラブの本質と活動の方向性のイメージに結びつく無限大の世界

についてお話を伺うことができ、感謝！感謝！の講演会の一時を体験致しました。最後に阿川地区代表幹事からの地区大会のPRの後閉会。閉会後は、レイクサイドゴルフ場のグリーンをバックに記念撮影でガバナー公式訪問を終えることが出来ました。

赤磐ロータリークラブ 2019-20 年度

直前会長 幡山 寛念

